

【変換時問題点と対応表】

注) 設定だけで対応できる ○ 少しの操作で対応できる 手間をかければ対応できる × 対応できない

問 題 発 生 時 点	発 生 事 項		対 応 者		対 応 策
			入力者	発注者	
SFX変換時	1	SXF変換実行中エラーメッセージ (変換不能)	○	○	文字入力モードを「全角」モードにしない。「直接入力」や「半角」モードにしておく。
p21 読込時	1A	p21ファイルを読み込むことができない。(エラーが出る)			データ自体が壊れているという根本的な原因も考えられるが、考えられる対処法は次の通り。 図面が原点から大きくずれている場合。→図形全体を移動 納品者がCIVIL-LT変換したデータに限れば→基本設定コマンドが実行したかどうか確認。 納品者がCIVIL-LT変換したデータに限れば→原点マーク×が左下原点位置になっているかどうか確認。 納品者がASXF変換したデータに限れば→モデルタブ・レイアウトタブどちらの p21 ファイルかを確認。
p21 読込後	2	p21読み込みデータを分解すると寸法線が異常に大きく化ける。		○	納品者側が納品データをCIVIL-LTでSXF変換した場合に起きる現象。寸法スタイルの更新を行う。
p21 読込後	3	文字が□□□表示されてしまう			TrueTypeフォントを使用すること。またASXF変換時にはMSゴシックの設定が必要。
p21 読込後	4	φ記号が?マークに化けている。			Windows98、Me系を使用しているマシンで起きる現象。(2000系ではこの現象は起きない。)文字検索コマンドを使えば図面内の文字を一括変更可能。
p21 読込後	5	図面タイトル文字などに{ }マークがついている。	○		納品者側が納品データをCIVIL-LTでSXF変換した場合に起きる現象。タイトル文字を「マルチテキスト」の下線機能を使って書いた場合、下線が{ }に化ける。マルチテキストを分解してからSXF変換すればこの現象はなくなる。
p21 読込後	6	引き出し線 (旗上げ等)の文字が消える。	○		「引き出し線」コマンドの文字をマルチテキストで書いた場合に起きる現象。注釈複数行の引き出し線を作図するとこうなる。この場合もマテキストを分解してからSXF変換するれば、この現象はなくなる。
p21 読込後	7	引き出し線 (旗揚げ等)の引き出し方向がずれたり、文字幅が広がる。	○		上記と同じ。
p21 読込後	8	角度付きの文字列だけが化ける。	○		「マルチテキスト」の属性「方向」を垂直に設定していた場合。
p21 読込後	9	寸法矢印記号が化ける。 寸法文字が表示されない	○		納品者側・・・寸法スタイル管理の設定を確認すること。また寸法線の定義点位置に注意する。 発注者側・・・微調整は「オブジェクトプロパティ管理」コマンドで1つ1つ変更。
p21 読込後	10	文字の位置属性 (上下方向)のズレ発生 C TO C にて表中記入文字の上下の位置ずれ (A TO C にも多少有り)	○		DWGデータ入力時、文字の上下方向位置属性を中央 (左中央,中央,右中央)とする。
p21 読込後	11	画面上で、線種がすべて実線表示される。		○	「グローバル線種尺度」を設定する。
p21 読込後	12	「グローバル線種尺度」を設定しても線種表現されない線がある。			短い線分などで起きる現象。「オブジェクトプロパティ管理」コマンドで表現されていない線分の「線種尺度」を変更する。
p21 読込後	13	印刷時の尺度が合わない		○	印刷コマンドを実行し、「印刷設定」の尺度・印刷領域・オフセット・単位・印刷方向などがきちんと設定されているか確認。
p21 読込後	14	印刷時に輪郭線がきちんと納まらない		○	同 上
p21 読込後	15	線が思ったような太さ表現で印刷されない。		○	印刷コマンドを実行し、「印刷デバイス」のctbファイルを確認する。
p21 読込後	16	ポリラインの一部が変換されない。	○		ポリラインの定義点が重複しているために起こる現象。ポリライン編集で、重複点を移動させる。
p21 読込後	17	属性値入力された文字が表示されない。	○		テキスト入力時、属性値としての文字入力はしないこと。
DWG入力時	18	5項、6項、7項 追記事項	○		下線付テキスト 注釈付引出線 (複数行注釈)入力時、0」レイヤにて作成後分解するとテキストは0」レイヤ、ラインは指定レイヤにと分かれる。 0」レイヤ以外の指定レイヤーにて入力し、分解すること。

発注者側
 納品者側
 両者